

プラスチック成形加工学会関西支部 第7回成形加工基礎講座のご案内

ゼロからのCAE（前編） ものづくりに向けてのコンピュータ利用ー構造解析編ー

プラスチック成形加工学会関西支部ではプラスチック成形加工に関連したトピックスを対象として、教科書を独学するために必要な基礎知識の端緒をつかんでいただくための基礎的な講座として、成形加工基礎講座を開催して参りました。

第7回および第8回はものづくりにおける設計技術として重要なCAE（Computer Aided Engineering）を対象といたしました。第7回は身近なプラスチック製品の製品設計におけるコンピュータ利用の構造解析に関する基礎的な事項について事例紹介を交えながら4日間に渡って連続して講義を行います。

ご多用中だとは存じますが、多数のご参加を期待しております。

（準備の都合上、6月12日までにお申し込み下さい。今回は企業内に会場があるため、必ず事前申し込みをお願い致します）

関西支部支部長
野々村千里

1. 日 時： 1日目：平成25年6月19日（水）午後6時30分～午後8時00分
2日目：平成25年6月26日（水）午後6時30分～午後8時00分
3日目：平成25年7月 3日（水）午後6時30分～午後8時00分
4日目：平成25年7月10日（水）午後6時30分～午後8時00分

2. 場 所： パナソニック企業年金基金 松心会館 2F 研修室
〒571-0055 大阪府門真市中町 1-19

3. 講 師： 京都工芸繊維大学 横 山 敦 士 氏

4. 内 容： 第1日目：CAEに必要な基礎知識：材料力学編
1. 材料はどのように変形するのか：変形を数値化するためには
2. 材料の柔らかい、固いはどう数値化するのか
3. 静的、動的、疲労はどう区別するのか。定式化の違いは
4. CAE手法を用いた構造解析事例（1）

- 第2日目：CAEに必要な基礎知識：数値解析編
1. 数値解析とは
2. CAEに用いられている数値解析技術
3. CAEソフトウェアの内部：何を計算しているのか
4. CAE手法を用いた構造解析事例（2）

第3日目：CAEの手続き

1. 計算を始める前にやるべき事
2. 要素について：計算する対象による選択
3. 要素分割・境界条件の決定：コンピュータに入力する前に考えておくこと
4. 結果をどう見るか：計算結果の見方、精度の評価
5. CAE手法を用いた構造解析事例（3）

第4日目：CAEのプラスチック製品設計への高度な使い方

1. 非線形解析：大変形および材料非線形
2. 衝撃解析
3. 粘弾性解析
4. CAE手法を用いた構造解析事例（4）

※基礎講座の進捗状況により内容は多少変更する場合がありますので
ご了承ください

5. 参加費：（一日あたりの金額です。なお3回ご参加の方は4回目の参加費は無料となります）

会員 2,000円、 学生1,000円
非会員 4,000円

6. 定員： 30名

7. 申込方法：受講者氏名、所属、連絡先、受講希望日を明記の上、下記宛お申し込みください。

記

銀行振り込み：京都銀行下鴨支店、普通預金 口座番号「3114793」、
名義「プラスチック成形加工学会関西支部」

参加申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
京都工芸繊維大学大学院先端ファイブ科学部門
プラスチック成形加工学会関西支部事務局 横山敦士 宛
(075)724-7754（電話）(075)724-7754（FAX） E-mail：yokoyama@kit.ac.jp

交通のご案内



所在地

〒571-0055 大阪府門真市中町1-19
パナソニック企業年金基金 松心会館
TEL.06-6907-4812 FAX.06-6907-4813

アクセス

- ・京阪電車「門真市駅」下車、徒歩約5分
- ・大阪モノレール「門真市駅」下車、徒歩7分